

タウンミーティング開催報告



昨年度に続き、令和6年度も新庄市議会議員の有志6名が、去る2月23日(日)新庄市民プラザにてタウンミーティング第2弾を開催しました。市民の皆さんから、地域の困り事・市政への意見や提案をお聞きする「第1部」と、10年後の新庄市をテーマにしたワークショップ「第2部」の内容を報告書としてまとめました。

日々の暮らしや地域の課題を一緒に考え、よりよい市政につなげていくための第一歩にします。

第1部 新庄市の課題と対策を話そう

地域の困り事や市政への意見・提案をお聞きし、参加議員一人ひとりの考えもお伝えしました。



1. 交通・移動の問題

▶ 循環バス・タクシーの利便性向上

- ・バス運行が不便で利用者が増えない。
- ・タクシー券の配布など、より使いやすい支援が必要。

▶ 除雪の遅れ

- ・私道扱いで除雪が遅れ、住民が困っている。
- ・生活道路も重要であり、除雪順番の見直しも必要。

2. 教育・子どもの将来

▶ 農業の担い手不足と教育

- ・子どもが農業に関わる機会が減少しており、就職希望も少ない。
- ・学校教育で「農業科」の導入の検討を。

▶ 子どもの体力向上

- ・運動能力の二極化が進んでいる。
- ・学校や地域での運動機会を増やす必要がある。



3. 防災・情報発信

▶ 防災行政無線の改善

- ・防災スピーカーの音が聞こえにくい。
- ・インターネットやラジオを活用した情報発信の強化が必要。

▶ あすラジ(コミュニティ放送)への支援

- ・熊被害や水害時に重要な情報を提供しているが、市からの支援がない。
- ・財政的支援や運営への協力を検討すべき。



4. 議会・行政改革

▶ 議員定数の削減

- ・人口減少に伴い、議員数を減らすべき。
- ・浮いた予算を地域の交通支援や防犯パトロールに回すべき。

▶ 行政委員会委員の公募制

- ・同じ人ばかりが委員に参加している。
- ・公募を広げ、多様な市民の意見を反映させるべき。

▶ タウンミーティングの継続

- ・継続開催を希望。
- ・予算編成前のタイミングで実施するとより効果的。

5. 住民サービス・福祉

▶ 高齢者施設の充実

- ・閉鎖された老人福祉センターの代替施設が必要。
- ・県内他市と比べても新庄市には福祉施設が少ない。

▶ 看護師の確保

- ・地元で働く看護師が少ない。
- ・奨学金だけでなく、一時金の支給などの支援が必要。

6. 環境・都市計画

▶ 水害対策

- ・度重なる川の氾濫で住民が不安を感じている。
- ・河川の整備や排水対策を進める必要がある。

▶ 食品トレーリサイクルの問題

- ・リサイクルされたトレーが行き場を失っている。
- ・事業者の再選定や新たな活用方法の模索が必要。

参加者の感想

感想の一部をご紹介！
その他はぜひ専用サイトで

若年層が集まるには“活気”
と“チャレンジできる空気”が
必要と思う。

私たち市民にはできないことを
実現するのが議員さんの役割だと思い
ます。頑張ってください。

カードの使い方が難し
かったが、話していてワクワク
しました。

参加議員紹介

～ 私たちがタウンミーティングを開催しました! ～

発行日 /

令和7年5月26日

発行責任者 / 新田道尋

新庄市大字泉田字泉田195

Tel 0233-25-3343



坂本健太郎

共に創る市民の会



田中 功

共に創る市民の会



伊藤健一

共に創る市民の会



今田浩徳

共に創る市民の会



新田道尋

共に創る市民の会



亀井博人

無会派

第2部 新庄市の将来について語ろう

地域の良さを可視化し、もっと若年層が住みたいと思える街づくりをしたい。「子育て支援を充実させる」、「街全体を絵本のようにアーティスティックな雰囲気にする」ことができれば、若年層の流入が見込めるだろう。アートを通じて新庄にアプローチし「明るく、にぎやかで、やさしい新庄市」にしていきたい。
(10代 女子)



若者の増加により人口増加に転じる。最上地域の良さを生かした政策転換を図り、山形県の中心都市になろうとする動きが活発化する。「山形県の県都を新庄市に」という挑戦的な意志表明ができる強いリーダーを育てる。

「互いを認め合い、許し合い、尊重し合うこと」で「こうあるべき」という固定概念にとらわれない社会をつくる。その結果、「どんどん挑戦し、明るさと活気、にぎやかさを取り戻す街」になっている。
(30代 女性)



つながりや利他の精神を大切にする人たちとコラボし、農業を基軸とする地域づくりにチャレンジしたい。

希望を持って農業をする若者が増え、楽しみを持って暮らせる高齢者がたくさんいる新庄市になってほしい。山車文化が引き継がれ、若者が囃子をし、お年寄りが笑顔でいられるまちになればいいと思う。
(60代)

人口5万人の最上地域の中心都市づくりに取り組みたい。まず農業を魅力あるものにし、子どもたちにも農業の楽しさを伝え、担い手を増やす。高齢者も可能な限り参加できる農業の仕組みを整え支援する。工業等の産業面でも持続可能な業種を採用し、就業人口を増加させる。

市民の意見交換や市民活動を通じて、市政が変わることを目指し諦めない。市民のための新庄市になっていることを願っている。
(50代)

ワークショップ参加者の様子



参加された市民の皆さんの“ありたい新庄市”が分かりました。これらの実現に向けて議員活動を続けていきます。

カードを使ったワークショップの手法で、議員と一緒に新庄市の将来、住みたい新庄市を考えました。参加者それぞれの「私が考える10年後の新庄市」をご紹介します！

つながりを大切にし、地域ネットワークを広げることで、一人ひとりが自分の強みを生かせる場をつくる。誰もが輝く新庄市へと成長している。

----- (40代 女性)

地域の交流や対話を通じて、文化や歴史を継承し、個々が高い意識を持ち、誇りを感じられる新庄市を目指す。



今ある文化を大切にし、地域で守り育てることで、新庄市の魅力をさらに高めていきたい。地域内や世代間の対話を通じて、人と人とのつながりを深めていきたい。

----- (20代 女性)

小中学生が安心して安全に登下校できるように、地域全体で見守り隊やボランティア活動を継続的に取り組んでいきたい。

今後の超高齢化社会を支えるため、看護師や介護スタッフ人材を確保し、介護の担い手を失わない、高齢者に優しい社会を目指す。

災害発生時、避難が困難な方々が安全に避難できるよう防災意識を高め、高齢者や幼児など社会的に支援が必要な方々の安全を守る新庄市をつくっていきたい。
(40代 男性)



「教育都市」になることで市が活性化する。

若者と高齢者が自由に討論できる場所と機会をもっと考えてほしい。美術館や映画館の設置を希望。設備・費用・場所など、意見を出し合い進めてほしい。開府400年にあたり歴史の町新庄を広めてほしい。

大地性の復権（まちづくり理念）、実証実験的プロジェクトの提案（新田園都市の実現）、参加共生のまちづくり手法（コーポラティブ住宅の実現）

真に必要なことに投資し、後世に胸を張れる、持続可能な魅力ある新庄市になる。

市民の皆さんの意見・提案に対し、新庄市の考えや現在までの動きについて、専用サイトに掲載しています。参加者アンケートのまとめや詳しい感想などもぜひご覧ください。

https://bundl.jp/data/town_meeting.html

↓詳細はこちらから

